

〔活動7〕

子どもたちからだのしくみを 伝えるプログラム事業

事業名：こども対象の「からだ」プログラム事業

● **事業開始** 2023年4月

● **立ち上げのきっかけ**：子どもたちが、からだの仕組みを知ること、自分のからだの仕組みに興味を持ち、自分のからだを大事に思う気持ちが高まること、また健康に大切なことがわかることを目標に、看護教員がからだ先生になり、子どもたちからだの仕組みを伝えるプログラム活動を埼玉県立大学のオープンカレッジでスタートした。

こどものからだのしくみを伝えるプログラム事業

- **ケア対象** 5歳児前後の子どもと、その保護者
- **活動メンバー** 看護教員（からだ先生）、看護学生、近隣の市民サポーターなど
NPO法人からだフシギとの協同連携
- **活動目標**
 - ① 子どもたちが、からだの仕組みを知ること、自分のからだの仕組みに興味を持ち、自分のからだを大事に思う気持ちが高まる
 - ② 子どもたちが、からだの仕組みを知ること、元気になるための大切なことがわかる
- **活動内容（プログラム内容）**

からだ先生研修を受けたスタッフが、からだの仕組みを知る機会を提供する

 - ① 手遊び歌 ② からだの紙芝居（消化器系・泌尿器系・骨と筋肉など）
 - ③ 「からだクイズ」と「からだのぬりえ」 ④ 臓器Tシャツ 見て、触って、考える

子どもたちからだのしくみを伝えるプログラム事業

互いを理解する 	互いを信頼する 
互いを尊敬する 	互いの持ち味を活かす 
互いに役割を担う 	共に課題を乗り越える 
意思決定を共有する 	共に学ぶ 

